東広島市教育委員会定例会（令和5年4月）議事録

- 1 日時 令和5年4月27日（木）午後3時0分～午後4時04分
- 2 出席者
 - (1)教育長 市場教育長
 - (2)委員 渡部教育長職務代理者、坂越委員、島本委員、西村委員
欠席：京極委員
 - (3)事務局 【学校教育部】
江口学校教育部長、榊原教育参与、神笠教育監、武上学校教育部次長兼教育総務課長、井上施設安全調整監、吉岡学事課長、鷹橋指導課長、沖指導課情報教育推進室長、石田教育総務課課長補佐兼教育総務係長兼管理係長
【生涯学習部】
伊藤生涯学習部長、細谷生涯学習部次長兼生涯学習課長、山本スポーツ振興課長、大内文化課長、戸光青少年育成課長、尾畑生涯学習課課長補佐兼地域の学びの企画係長兼管理係長
 - (4)書記 信原主任
- 3 場所 本館3階 303会議室
- 4 議題
 - (1)議案事項
議案第13号 令和6年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針について
 - (2)報告事項
報告第20号 令和5年度東広島市教育委員会事務局等組織機構について
報告第21号 令和5年度東広島市立学校等の園児・児童・生徒数及び学級数について
報告第22号 東広島市学校給食費徴収規則の一部改正について
報告第23号 スクールバス車内への児童の置き去り事案とその再発防止策について
報告第24号 学校における働き方改革取組方針の改訂について
報告第25号 令和4年度東広島市立小中学校卒業者の進路状況について
報告第26号 令和5年度東広島市立小中学校研究公開について
報告第27号 令和5年度GIGAスクール構想の推進について
報告第28号 学校支援センターの取組状況について
報告第29号 児童生徒のかけがえのない命を守るためのトライアングルプランの改訂について
報告第30号 東広島市学校給食調理等業務委託事業者選定委員会規則の廃止について
報告第31号 第35回東広島市民スポーツ大会の開催について
報告第32号 芸術文化ホールくらら及び美術館の指定管理者に係るプロポーザル実施について
 - (3)その他
ア 学校給食G7広島サミットサラダについて

イ 次回教育委員会定例会の日程について

開会 午後3時0分

- 市場教育長：それでは、定足数に達していますので、令和5年4月の教育委員会定例会を開会いたします。
本日の議事録署名委員は、渡部教育長職務代理者と坂越委員でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
本日の会議の進行でございますが、全て公開で行いたいと思います。
委員の皆様の見解を伺いたいと思います。いかがでしょうか。
それでは、全て公開とすることに決定します。
本日の傍聴希望はありますか。
- 武上学校教育部次長兼教育総務課長：傍聴希望がございます。
- 市場教育長：分かりました。
それでは、教育委員会傍聴人規則の注意事項を遵守していただくことを条件に、傍聴を許可いたします。
暫時休憩いたします。
(休憩)
- 市場教育長：再開いたします。

議案第13号 令和6年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針について

- 市場教育長：それでは、議案事項からですが、議案第13号令和6年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針について、1件の議案を議題といたします。
議案の説明をお願いいたします。
- 鷹橋指導課長：資料1ページ、1の提案理由をご覧ください。
令和6年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針を定めるため、この議案を提出するものでございます。
そこで、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6項に則り、採択権者としての権限と責任において、本市の児童にとって最も適切な教科用図書の採択を行うため、令和6年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針を定めるものでございます。
3ページをご覧ください。
1では、採択の基本として、本市の教科書採択に当たっての方針等を示しております。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、広島県教育委員会の指導・助言の下、東広島市の児童生徒にとって、最も適切な教科用図書を採択することとしております。
2では、採択権者の権限と責任において公正かつ適切な採択を行うことを示しております。

3では、開かれた採択の推進として、教科書無償措置法及び施行令に示されております教科用図書の採択に係る公表について示しております。採択が完了する8月31日以降に準備が整い次第、これらの内容を公表してまいります。

4では、採択の手續等について示しております。(3)では、特別支援学級で使用します学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、いわゆる一般図書についての採択の手續を示しております。(4)では、採択の時期について、義務教育学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条により、8月31日までに行うことを示しております。

今後につきましては、小学校の教科書と特別支援学級の一般図書の採択がございますので、小学校の教科書は7月、特別支援学級の一般図書は8月の教育委員会会議において採択が行えるよう、採択事務を計画的に進めてまいりたいと考えております。

また、広く市民の皆様にも教科用図書をご覧いただき、ご意見等をいただく機会を設けるために、教科書の閲覧・展示を行う予定でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第13号令和6年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針について、ご意見、ご質問があればお願ひいたします。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

報告第20号 令和5年度東広島市教育委員会事務局等組織機構について

○ 市場教育長：それでは、報告事項に移ります。

報告第20号令和5年度東広島市教育委員会事務局等組織機構について、説明をお願ひいたします。

○ 武上学校教育部次長兼教育総務課長：1ページをお願ひいたします。

大きく変更のありましたところについて説明いたします。

始めに、学校教育部ですが、左側、教育長の下、部長の下、教育参与の下に教育監という職を設置しております。教育内容とICT活用の更なる連携、充実を図るため、新たに指導課と学校支援センターを統括する教育監の職を設置しております。

次に、真ん中、指導課のところを見ていただければと思います。

GIGAスクール構想推進の3年目を迎えるに当たり、ICT環境の整備から学校での授業等におけるICTの利活用にシフトし、取組を加速するために、情報教育推進室を教育総務課から指導課に移管しております。

2ページをお願ひいたします。

生涯学習部になります。2ページの上、右側一番上の生涯学習課の係のところを見ていただければと思います。

生涯学習課が文化芸術、スポーツ、青少年育成の全ての学びを統括し、部内の事業の企画運営の推進を図るため、学習総務係を地域の学びの企画係に変更しております。

次に、真ん中の文化課ですが、記載はしておりませんが、専門職員を継続雇用することにより、長期的、持続的な事業展開を可能とすることを目的に、教育文化振興事業団が美術館学芸員を採用することに伴い美術館長の職を廃止しております。

最後に、教育委員会事務局等の職員数でございますが、北部学校給食センターの調理業務の民間委託の関係で、昨年度から10名減って129名となっております。

説明は以上でございます。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

報告第21号 令和5年度東広島市立学校等の園児・児童・生徒数及び学級数について

○ 市場教育長：次に、報告第21号令和5年度東広島市立学校等の園児・児童・生徒数及び学級数について、説明をお願いいたします。

○ 吉岡学事課長：報告第21号です。

3ページをご覧ください。

東広島市立学校設置条例に基づきまして、令和5年度は幼稚園1園、小学校、もみじ小を含みまして33校、中学校15校が開校しております。

令和5年度は、小学校1年生から4年生までの学級の定数が35人となります。4月6日現在の各幼稚園、各小・中学校の園児・児童・生徒数及び学級数につきましては、それぞれ1から3に示しているとおりでございます。児童・生徒数の中の11か所に黄色いセルがあります。これは、5月1日の児童・生徒調査までに児童・生徒数が1名増減した場合に学級数が変化する学校です。

例えば、1番の西条小学校の2年生は現在140名ですが、2年生の1学級の基準は35人となるため、現時点では4学級ですが、5月1日の児童・生徒調査までに1名増えると5学級になります。そのほか、11番の吉川小学校の5、6年生は現在複式学級ですが、1名増えると複式学級が解消されます。29番の木谷小学校の5、6年生は17名で複式学級は現在解消されていますが、1名減ると複式学級となります。

表の中ほどに園児・児童・生徒数の前年度比を示しております。黒塗りの三角は前年度より減少している園児・児童・生徒数を表しております。小学校全体での前年度比は100名減少、中学校全体では54名減少、幼稚園全体では11名減少となっております。

次に、右側の表の右端は、学級数の前年度比を示しております。小学校全体での前年度比は、小学校では1学級減少、中学校全体では5学級増加、幼稚園全体では増減なしです。

各学校の内訳につきましては、お示ししているとおりでございます。

報告は以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 市場教育長：ありがとうございました。
ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願ひいたします。
- 島本委員：1名増減で学級数が変化する訳ですが、現時点での可能性はどうか、教えてください。
- 吉岡学事課長：現時点でもこの数字は変わっておりませんので、転校生等、注視をしながら、早い段階で学校からの情報を早くキャッチして対応しているところです。
- 島本委員：校長先生としたらすごく気になるころだと思います。幼稚園が1園になったのですが、幼稚園は定数があるのですか。4歳、5歳で、定数が何人なのか、分かったら教えてください。
- 吉岡学事課長：幼稚園の定数につきましては、1学級が35名以下になります。それより増えれば複数の学級になるということです。
- 島本委員：あわせて、今後途中でも児童数、生徒数が増えるだろうという学校はどのあたりでしょう、教えてください。
- 吉岡学事課長：学校で申し上げますと、7番の平岩小学校、8番の御菌宇小学校、そして川上小学校、33番の龍王小学校が小学校で増えているような状況です。それに伴いまして中学校も増加していくというような状況になっております。
- 島本委員：プレハブとかも必要なのかなと思うのですが、ぜひそういう環境のほうもよろしくお願ひします。
- 武上学校教育部次長兼教育総務課長：現在、プレハブ解消に向けまして、西条小学校、東西条小学校、御菌宇小学校については、解消に向けて工事のほうを進めていく予定にしております。直近で言いますと、平岩小学校と龍王小学校が校舎の規模を超えて児童数が増えておりますので、プレハブを造っている状況になっておりますが、古くからあるプレハブ校舎については計画的に解消していきたいと考えております。
- 島本委員：あわせて、最後にもう一つ、特認校にされた福富小・中学校。校区外から来ている人数が分かったら教えてください。
- 吉岡学事課長：福富小・中学校につきましては、現時点で中学校に1名、小中一貫特認校制度を利用して転校している状況です。
- 島本委員：分かりました。ありがとうございました。
- 坂越委員：関連して、教えていただきたいことがあるのは、仮に5月1日で、それ以降でもあると思うんですけども、子供が増えてクラスが分かると、教員の確保、これはよく言われることなんですけれども、やっぱりかなり厳しい状況というのはありますか。
- 吉岡学事課長：4月を超えて教員確保をしていくのは大変難しい状況がございます。5月1日を過ぎれば定数は現状のままになりますので、5月1日までに人数が増えれば、その学校に教職員を適宜配置していくという流れになります。
- 坂越委員：5月1日に限らずいろんな形で、産休、育休もあるでしょうし、教員の確

保が話題になっているので、ご苦勞ですけどよろしくお願ひします。

- 市場教育長：ほかにはございませんか。

報告第22号 東広島市学校給食費徴収規則の一部改正について

- 市場教育長：それでは次に、報告第22号東広島市学校給食費徴収規則の一部改正について、説明をお願いいたします。
- 吉岡学事課長：報告第22号です。

4ページをご覧ください。

令和4年度におきまして、物価高騰に伴う学校給食費の保護者負担を軽減するに当たり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しておりました。令和4年12月26日付の広島県教育委員会からの通知によりまして、教職員分につきましてはこの臨時交付金を充てることができないということが分かりました。

そのため、令和4年8月1日から令和5年3月31日までの期間、教職員分の学校給食費につきましては、金額を変更いたしまして徴収をすることとしたため、この東広島市学校給食費徴収規則を一部改正したものです。

教職員1食当たりの給食費は、2の表に示してあるとおりです。

報告は以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 市場教育長：ありがとうございます。
ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願ひいたします。
よろしいでしょうか。

報告第23号 スクールバス車内への児童の置き去り事案とその再発防止策について

- 市場教育長：それでは次に、報告第23号スクールバス車内への児童の置き去り事案とその再発防止策について、説明をお願いいたします。
- 吉岡学事課長：報告第23号です。

5ページをご覧ください。

当該事案につきましては、昨年度3月の定例会で報告をさせていただきました。その概要と当面の再発防止策を報告いたしました。その後、学校や各運行業者とも連携し、本市独自の運行マニュアルの中で再発防止策を定めて、新学期が始まるに当たり、適正に運用していることを報告するものでございます。

2の再発防止策のうち、運行事業者に対しては、1点目といたしまして、スクールバス運行マニュアルに基づく乗車確認表により、乗車、降車の児童・生徒数を必ず確認すること及び最終地点等において車内を必ず確認することなど、当該マニュアルの履行を全ての運行事業者との契約内容に追加し、当該事案を発生させた運行事業者に対しては特に徹底を求めているところでございます。

2点目といたしまして、最善で確実な防止策は運転手による車内確認であることに変更はなく、全ての運行事業者に対しまして、これを機会あるごとに指導し、危機管理意識の低下の防止を図ってまいります。

また、スクールバスを運行している小・中学校に対しましては、1点目はスクールバスの運行マニュアルに沿って対応すること、特にバス停ごとの班長が運転手に乗車、降車人数を伝えることとして各学校が継続的に指導すること。2点目は、各学校はバス等における児童・生徒のリスク回避訓練等を定期的実施すること。3点目は、事故のあった小学校では、児童による運転手への人数報告等が円滑に行えているかなどについて確認し、課題があればさらに改善を図るため、4月10日から14日までの間、下校便のスクールバスに教職員が同乗しました。

3の当該運行事業者に対する処分ですが、当該事案を発生された運転者をスクールバス運行業務から外すこと、また再発防止の意味合いを含め、契約期間中、最終地点等において運転手のほか、他のバスの運転手が車内を目視で確認すること。これらを含む改善と安全運行の勧告につきまして、4月13日学校教育部長から当該運行事業者の代表者に対して行っております。

説明は以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

報告第24号 学校における働き方改革取組方針の改訂について

○ 市場教育長：それでは次に、報告第24号学校における働き方改革取組方針の改訂について、説明をお願いいたします。

○ 吉岡学事課長：報告第24号です。

それでは、別添の資料の3ページの1の「取組方針の改訂にあたって」の下から4行目の部分をご覧ください。

「東広島市立学校の教育職員の業務量の管理等に関する規則」を策定し、今年度4月1日から施行しているところでございます。

この度の改訂は、令和4年3月に県教委が令和5年度から令和7年度の間に改訂したことに合わせて、本市の学校における働き方改革取組方針を改訂し、その期間の方針を定めるものです。これまでに令和元年度に制定した学校における働き方改革の方針に基づきまして、時間外在校時間の目標は月80時間を超えないこととしており、令和3年度末まで取組を進めておりました。令和4年度の改訂版「学校における働き方改革取組方針」につきましては、時間外在校時間の目標を校内平均月60時間未満とし、市教委の学校における働き方改革の取組に並行して学校の業務改善や教職員の意識改革を図ってまいりました。

2の「令和4年度の成果指標に対する本市の教育職員の現状」についてです。令和4年度12月の調査による教育職員の現状は、(1)学校を働きがいがあると感じると回答した教職員は94.5%でした。(2)所属校は働きやすい職場であると答えた教職員は90.4%でした。これにつきましては教職員の働きがいの意識が高いこと、もしくは各学校において管理職や同僚の支援により、風通しのよい組織文化が形成されていることが考えられます。さらに、教職員が働く喜びを感じられる学校職場づ

くりを着実に進めていくことが必要だと考えております。

それでは、4ページをご覧ください。

(3) 時間外在校等時間が年平均で月80時間以上の教職員の割合は、小学校で1.5%、これは9人に当たります。中学校は4.8%、これは15人に当たります。前年と比較いたしますと80時間以上の教員が少なくなっている状況でございます。

(4) 時間外在校時間の校内平均が年平均で月60時間未満の状況は、表のとおりでございます。約1時間から約2時間程度減少している状況です。

(5) 年次有給休暇を10日以上取得した教職員は、小学校が50.4%と、前年度より8.7ポイント増加しております。中学校は36.6%で、前年度より0.3ポイント減少しております。

続きまして、9ページをご覧ください。

5の「目標・成果指標」は、次の4点としております。

(1)「学校は働きがいがある」と答える教職員を90%以上にする。(2)「所属校は働きやすい職場である」と答える教職員を90%以上にする。(3)時間外在校等時間を月45時間以下、年360時間以下とする。(4)年次有給休暇を10日以上取得する教職員を100%にする取組を進めてまいります。

6の「取組内容」についてです。

市教委といたしまして取組を進めてまいりましたが、主な変更点等について説明をいたします。

アの「校務支援システム等ICTの活用促進」のうち、(ウ)全中学校に対しましてテスト採点ソフト(リアテンド)を導入し、採点作業の軽減をする。

(エ)保護者への伝達手段の簡素化、防災情報の適用など、市民ポータルサイトの活用を推進する。

10ページをご覧ください。

エ「学校支援センターによる学校等支援」のうち(イ)ICTを活用した授業づくりを行う。学校支援センターからICT支援員を派遣し、資料づくりのサポートを行っていくということでございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いたします。

○ 島本委員：取組で色々成果が出ているということはすばらしいと思えました。アンケートは、教職員ですから当然管理職を含めてのアンケートですね。その中で、教頭先生がおそらく、一番時間的にも、それから仕事の種類も多いかと思うのですが、数字的には下がっていても、実際の声として教頭先生からの声は、特に教育委員会に入っていますか。あったら教えてください。

○ 吉岡学事課長：教育委員会のから学校に通知する文書が4月当初は非常に多いということは聞いております。必ず通知しなくてはいけない内容かを精査していますが、なかなか改善できていないところもあります。そのような内容が改善をしていく中

で、教頭先生の業務改善に繋がるような取組をしてみたいと考えております。

- 島本委員：実際に教頭としての仕事、事務的なこともあります。先生の中でお休みされたりして、その代わりに担任に入っているという学校もあると聞いたのですが、東広島市の傾向としてはどうですか、多いですか。
- 吉岡学事課長：例えば、昨年度は、コロナの陽性により、多く先生方が長期間にわたって休まれることがあり、管理職が対応することがありました。学校支援センターのスクール・サポート・スタッフ等で対応し、サポートすることはありました。
- 島本委員：分かりました。ありがとうございます。
- 坂越委員：小学校で、学校は働きがいがあるかという質問、働きやすい職場かという質問があります。1番目の学校は働きがいがあるかというのは、これはもうそれぞれの先生方の感じですので、なかなか難しいと思いますが、2番目の働きやすい職場であるかということに対して、約10%の先生が否定的な答えというふうに思います。それはどのようなことなのか検討といいますか、把握されているのでしょうか。
- 吉岡学事課長：市立全小中学校ではストレスチェック等をしております。その中で、上司や同僚のサポート等の数値の結果が明らかになります。それを学校に情報提供し、学校が業務改善に生かしていきながら、不満を抱えている10%の教職員に対応していく方法を取っております。
- 坂越委員：ありがとうございます。よろしく願いいたします。
- 市場教育長：ほかにはございませんか。

報告第25号 令和4年度東広島市立小中学校卒業者の進路状況について

- 市場教育長：それでは次に、報告第25号令和4年度東広島市立小中学校卒業者の進路状況について説明をお願いします。
- 鷹橋指導課長：報告第25号です。

資料の6ページをご覧ください。

始めに、小学校の進路状況についてです。令和4年度の卒業生数は1,908人です。

2「進学先の状況」をご覧ください。

令和4年度の進学先につきましては、公立中学校へは1,685人、うち市内市立中学校へは1,598人が進学しています。また、国立中学校へは13人、私立中学校へは190人、県外へは合わせて20人が進学しております。国立、公立、私立の進学状況につきましては、近年同様の傾向でございまして、詳細につきましては表に示してあるとおりです。

続いて、7ページをご覧ください。

中学校の進路状況についてです。

令和4年度の卒業生数は1,685人です。そのうち、上級学校への進学が1,673人、就職が1人、未決定が9人、その他が2人、この内訳は帰国が1人と就労支援施設

が1人となっております。なお、進路未決定となった9人のうち8人が不登校及び長期欠席の状況にございました。この9人の進路未決定者につきましては、引き続き、各学校が家庭と連携しながら進路指導を行ってまいります。

次に、2「上級学校進学状況」、(1)進学率の推移をご覧ください。

令和4年度の進学率は99.3%で、前年度と比較すると0.3ポイント増加しております。

次に、(2)国・公・私立別進学状況の推移をご覧ください。

令和4年度の進学状況について、公立学校へは1,069人、国立学校へは45人、私立学校へは559人が進学しております。前年度と比較すると、公立は2.4ポイント減少、国立は0.2ポイント増加、私立は2.2ポイント増加しております。

次に、3「上級学校〔全日制課程〕への進学状況」をご覧ください。

令和4年度の卒業生の92.2%が上級学校の全日制課程に進学しております。このうち、市内への進学率は52.5%で、前年度と比較すると0.3ポイント増加しております。なお、(1)市内上級学校〔全日制課程〕への進学状況のとおり、学校活性化地域協議会を立ち上げている賀茂北高等学校への市内からの進学者数は29人、豊田高等学校への市内からの進学者数は4人となっております。そのほかの市内上級学校及び市外上級学校の進学状況については表に示してあるとおりでございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 渡部教育長職務代理人：進学先で、県外があります。人数が多いなと思いますが、これは保護者の転居に係るのでしょうか。

○ 鷹橋指導課長：転居が主でございます。

○ 渡部教育長職務代理人：ありがとうございました。

報告第26号 令和5年度東広島市立小中学校研究公開について

○ 市場教育長：それでは、報告第26号令和5年度東広島市立小中学校研究公開について、説明をお願いいたします。

○ 鷹橋指導課長：報告第26号です。

資料の9ページをご覧ください。

令和5年度に研究公開する教育推進指定校は、高屋東小、御菌宇小、豊栄小、高美が丘中学、福富小・中学校でございます。なお、福富小・中学校については、広島県教育委員会が実施する探求的な学習の在り方に関する教育推進地域事業の連絡協議会を兼ねて開催する予定となっております。

委員の皆様には、各校の研究公開についてご案内をさせていただきますので、ご都合がつかれましたらご出席いただきますようお願いいたします。

また、校舎や屋内体育館の長寿命化改良工事等の関係で、令和6年度以降の指定校については適宜見直しを行っており、今後変更する可能性がございます。

報告は以上でございます。

- 市場教育長：ありがとうございました。
ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。
よろしいですか。

報告第27号 令和5年度G I G Aスクール構想の推進について

- 市場教育長：次に、報告第27号令和5年度G I G Aスクール構想の推進について、説明をお願いいたします。

- 沖指導課情報教育推進室長：それでは、資料の10ページをご覧ください。

まず、G I G Aスクール構想の目標でございます個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けまして、今年度新たに実施する取組について、でございます。

目指す姿の下、赤枠のところに記載をしております。「個別最適な学びの実現」につきましては、今年度の中ほどまでを目途としまして、学習eポータルとA I技術を用いたデジタルドリルの選定、それらと中学校で使用しております採点支援システムを連携させまして効率的に学習記録を活用できるシステムを構築いたします。その後、学校で試行しながら機能改善を図りまして、児童・生徒一人一人が自分の学習進度や学習到達度などに応じて、自ら学びを進める学習環境を構築する計画でございます。

続きまして、「協働的な学びの実現」では、パイロット校として小・中学校5校にラーニングルームを設置し、大型プロジェクターやスクリーン、プロジェクター付ホワイトボード、移動が容易な椅子、テーブル等を整備することで、遠隔授業や異学年交流等、協働的な学びの実現に資する設置校の特色ある教育活動を推進してまいります。

また、新たに海外との遠隔交流や専門家による遠隔授業を実施するほか、広島大学と連携して実施しております広域交流型オンライン学習を中学校でも実施したり、オンライン社会見学のメニューにエコ・パークを追加したりして遠隔教育の充実を図ってまいります。

また、令和5年度のG I G Aスクール構想推進のキーワードを「使いこなす」としまして、タブレット端末活用の日常化を図るための各種取組や支援を実施してまいります。

主なものとしましては、資料の上段、右側に掲載をしている取組のうち、各学校のG I G Aスクール構想推進の中心となっている教員を対象として実施するG I G Aスクール推進協議会におきまして、タブレット端末活用の日常化につながる実践事例を交流し、市内学校へ普及をいたします。

また、L e t ' s T r y ! G I G A授業では、昨年度の学校教育レベルアッププランアンケートにおきまして、授業でのI C T機器活用頻度が、ほぼ毎日及び週3回以上と回答した児童・生徒の割合が高かった学校の教員を講師といたしまして、タブレット端末活用の日常化につながる実践を普及をしていきます。

また、ICT支援員による授業支援では、現在学校支援センター所属のICT支援員等が市内全小・中学校を訪問し、ICT活用推進に係る各学校の悩みや支援してほしいという内容等を伺っているところでございまして、聞き取った内容を基に学校のニーズに応じた支援メニューを作成し実施をいたします。

また、学校からの要請に応じてタブレット端末を活用した授業づくり等に係る支援をするほか、ICT活用推進に課題のある学校を一定期間継続して訪問をいたしまして、支援する取組も行ってまいります。

報告第27号の説明については以上でございます。

- 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

- 坂越委員：想像する以上にどんどん進んでいるようですね。ぜひその方向でと思うんですけれども、これだけデジタル化が進んでくると、逆に課題とか問題点というのか、本当にこのまま突っ走っていいのかというような意見が出てくるようになりましたよね。文章読解にしても、今日の新聞で「ごんぎつね」をちゃんと読み取ることができるのかという記事も出ていました。その辺の活用の仕方として、どんどん進めていくことは大事だけれども、例えば文章読解力というのは、デジタル的なネット上の情報理解力リテラシーと合わせて、また別の心情理解的リテラシーというのが、そういうことにも配慮が必要なのかなと思います。沖さんに聞くのは恐縮だけれども、その辺の学校あるいは先生方の意識はどうでしょうか。
- 沖指導課情報教育推進室長：学校にお伝えをしているのは、ICT機器はあくまでも活用する道具であって、使うこと自体が目的になってはいけないということはお伝えをしております。使うことによってより効果的に学習ができる、より子供たちの力が伸びるという場面でしっかり使ってくださいということをお伝えしております。低学年は特に鉛筆でしっかり筆圧をもって字を書くということはとても大切なことだと思っておりますし、先ほど言われた読解についても、デジタル教科書を活用するというのは、字を目で追えないとか、漢字にふりがなが振っていないとみんなの勉強についていけないといった子が使うことによって、より効果的に、どの子も伸びる授業ができるのではないかとありますので、そこは子供たちの実態に応じて使い分けていただいてもよいと思っております。
- 坂越委員：ありがとうございました。よろしく申し上げます。
- 市場教育長：そのほかございませんか。

報告第28号 学校支援センターの取組状況について

- 市場教育長：それでは次に、報告第28号学校支援センターの取組状況について、説明をお願いいたします。
- 鷹橋指導課長：報告第28号です。
資料の11ページをご覧ください。
当センターは、時代の変化に対応した新しい学びの構築を目指すためには、伝統

的な指導方法と新しい機器を組み合わせた授業を効果的に進めることのできる若い人材の育成を図ることが重要との認識の下、計画的に教職員の指導力を向上させること及び学校の教育力の一層の充実を図ることを目標として令和4年度に設立しました。

1をご覧ください。

「若手教員に対する伴走型支援の実施状況について」ですが、本市に異動してきたばかりの5年目教職員を対象とした集合研修及び個別支援、教員の自己研さんの場である自主サークル活動の支援等を行っております。また、退職教員等をスクールサポーターとして、各校の要請に応じて派遣いたしました。

2をご覧ください。

このような支援の効果等については、小・中学校長を対象に行ったアンケートの結果です。教職員の資質向上や学校運営への支援につながっていると回答した割合は90%を超えており、肯定的な評価を得ております。

学校支援センターの取組につきましては、県内他市町のみならず県外の自治体からの関心も高く、視察の依頼がありました。中でも、若手教員に対する伴走型支援とスクールサポートセンターの取組に関心を持たれていました。視察後には、簡単にできることではないが何とかして学校支援センターのような組織をつくり取組を進めたいという言葉をいただいております。学校支援センターの取組は、本市が誇る価値あるものと捉えております。

3をご覧ください。

退職教員等による支援を行うスクールサポート事業は、当センター発足以前から継続しておりますが、令和4年度は2園41校に対し1万688時間の派遣となっております。相談・支援の内容は多岐にわたっており、学校の教職員だけでは担えない業務への人的派遣、ICT活用や生徒指導、教員の課題への個別対応といった今日的課題への支援に係るニーズが多くなっております。

このことを受けまして、資料12ページ下側中央付近にありますように、ICT支援員を拡充して従来からの環境整備を中心とした支援に加え、タブレットを活用した授業、プログラミング学習、遠隔授業等に係るより具体的な支援を、学校からの要請に応じて行うこととしています。

そして、13ページにありますように、若手教員への支援の充実として、5年目の教職員を対象とした研修に授業参観研修を加えるとともに、初任者研修を終えて学ぶ場を失いがちな2年目、3年目、4年目の教員から希望を取り、個別支援を行います。特に、初任者研修を終えた2年目の教職員には手厚い支援がなくなってくるため、ここに対する支援は喫緊の課題であると認識しております。2年目教員は、保護者対応、教材研究、特別支援教育、生徒指導、部活動指導などに関して様々な不安を抱えています。これらの不安を解消するとともに、本市の教育を担っていくために必要な資質、能力を養うように支援を行います。また、自主サークル活動の活性化、指導技術動画作成、教職員の交流の場づくりにも力を入れてまいりたいと

考えております。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

- 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問あればお願いいたします。

- 坂越委員：ありがとうございます。

このセンターの活動状況を以前私のほうから教えてくださいということをお願いしたもので、分かりやすく説明いただいて感謝いたします。

本当によく効率的に、説明の中でも言われましたけれども、伴走型でやっていただいているという状況がよく分かりました。これは今、ある意味キーワードになっているWELL-BEINGという、教職員が充足感なり幸福感なりを持って仕事に取り組んでいけることにおいて、この伴走型というのはとても大事だと思いますので、ぜひこの方針でお願いします。

それから、最後のあたりで、先生方が自分で研修して自分で学び合う、自主サークル、研修グループはとても有意義だと思いますので、これもまたサポートの対象にしていただければ大変いいかなと思いました。ありがとうございます。

- 市場教育長：よろしいですか。

報告第29号 児童生徒のかけがえのない命を守るためのトライアングルプランの改訂について

- 市場教育長：それでは次に、報告第29号児童生徒のかけがえのない命を守るためのトライアングルプランの改訂について、説明をお願いいたします。
- 鷹橋指導課長：報告第29号、資料の14ページをご覧ください。

トライアングルプランは、東広島市立中学校の生徒が自死した事案を受け、学校、家庭、地域が一体となって児童・生徒のかけがえのない命を守り輝かせることを目的として平成25年に策定しました。ひがしひろしま教育の日を定め、命の授業などを継続して取り組んでいるところです。

この生徒の自死につきましては、教員の不適切な指導が原因として、遺族が東広島市を訴え、7年にわたって裁判が行われてきましたが、本年3月に再発防止の徹底等を確約し、遺族との和解が成立しました。こうした経緯及び令和4年12月の生徒指導提要の改訂を受けて、トライアングルプランを改訂いたしました。

主な改訂内容について、15ページの左上をご覧ください。

児童・生徒への命の教育等の一層の強化では、3つ目の項目にありますように、新たに「SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育」を実施することにしました。具体的には、今年度からモデル校を指定して、SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育に係る研修を実施します。また、児童・生徒に寄り添い適切に指導するために、生徒指導提要でも示されている、「大声でどなる、物をたたく、投げる等の威圧的、感情的な言動で指導する」等の「不適切な指導と考えられ得る例」を題材とした研修を実施します。こういった研修等を通して、教職員への児

童・生徒理解を深化させる研修等の充実を図ってまいりたいと考えております。

再発防止に向け、本プランを実効性あるものにするためには、教育委員会をはじめ各学校が当事者意識を持って主体的に取り組を進めていくことが肝要です。校長会と連携を図りながら丁寧に進めてまいりたいと考えています。

なお、改訂したトライアングルプランは、年次ごとに評価、検証をし、修正を行っていく予定としております。

報告は以上です。よろしくお願いいたします。

- 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

報告第30号 東広島市学校給食調理等業務委託事業者選定委員会規則の廃止について

- 市場教育長：それでは次に、報告第30号東広島市学校給食調理等業務委託事業者選定委員会規則の廃止について、説明をお願いいたします。

- 鳴川学校教育部長兼東広島北部学校給食センター所長：報告第30号でございます。16ページをご覧ください。

1の廃止の理由でございますが、附属機関の設置に関する条例の東広島市学校給食調理等業務委託事業者選定委員会などの規定が廃止されまして、物品、役務など包括的な事業者選定委員会が組織できる東広島市プロポーザル方式及び設計競技方式事業者選定委員会が新たに規定されたことに伴い、東広島市学校給食調理等業務委託事業者選定委員会規則を廃止するものでございます。

2の施行期日は、令和5年4月1日でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

- 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

報告第31号 第35回東広島市民スポーツ大会の開催について

- 市場教育長：それでは次に、報告第31号第35回東広島市民スポーツ大会の開催について、説明をお願いいたします。

- 山本スポーツ振興課長：報告第31号です。

資料の17ページをご覧ください。

まず、競技名、開催期日等でございます。

6の表をご覧ください。

総合開会式及び陸上の部は、令和5年6月4日日曜日9時30分から、アクアパーク陸上競技場において実施いたします。球技の部でございますが、4競技で、いずれも令和5年9月24日日曜日8時30分から実施いたします。

会場でございますが、ソフトボールにつきましては福富多目的グラウンド及び福富小・中学校グラウンドで、グラウンドゴルフは男女の部ともにアクアパーク陸上

競技場及び同多目的グラウンド、ソフトバレーボールにつきましては男女ともにアクアパーク体育館で実施いたします。また、今年度から正式種目となりましたペタンクにつきましては河内スポーツアリーナで実施するようしております。

本来であれば、ペタンクの会場は特徴化した施設である旧東志和小学校体育館とするところですが、関係手続や工事が完了しておらず、現在は暫定的に使用している状況であるため、今回は会場として使用いたしません。

次に、総合表彰式でございますが、令和5年9月29日金曜日18時30分から東広島市市民文化センターにおいて執り行います。なお、6の表中にも記載しておりますように、総合開会式及び陸上の部は雨天の場合、少雨であれば実施いたしますが、それ以外の場合は中止といたします。球技の部につきましても、屋外で実施するソフトボール、グラウンドゴルフにつきましては、雨天の場合、陸上の部と同様とするようしております。屋内で実施するソフトバレーボール、ペタンクにつきましては予定どおり実施いたします。

次に、前年度の大会からの変更点でございますが、昨年は6月にアクアパーク陸上競技場の改修工事があり、陸上の部の会場が使用できなかったため、ソフトボール以外の球技の部を6月に実施し、9月に陸上の部とソフトボールを実施しております。今年度は従来のとおり6月に陸上の部を、9月に球技の部を実施いたします。また、陸上の部は昨年度新型コロナウイルス感染症防止の観点から、種目によりましては参加選手を減らしたり、実施しなかったものもございますが、今年度は年代別リレーを復活させるなどの見直しを行い、従前のとおりを実施するようしております。

市民スポーツ大会における種目、参加資格、定数等、その他の事項につきましては、本日の19時から実行委員会を開催して最終的な内容を決定することとしております。

説明は以上です。どうぞよろしく願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

報告第32号 芸術文化ホールくらら及び美術館の指定管理者に係るプロポーザル実施について

○ 市場教育長：それでは次に、報告第32号芸術文化ホールくらら及び美術館の指定管理者に係るプロポーザル実施について、説明をお願いいたします。

○ 大内文化課長：資料の20ページをご覧ください。

現在、文化課の所管であります東広島芸術文化ホールくらら及び東広島市立美術館の指定管理期間がどちらも本年度末の令和6年3月31日で終了するため、新たに指定管理者の公募を行おうとするものでございます。

まず、1の「プロポーザルを実施する施設の概要」でございますが、(1)は東広島芸術文化ホールくららでございます。現在、指定管理は2期目で、2期とも指定

管理者はJTB・NHKアート・日本管財共同企業体でございます。(2)は東広島市立美術館でございます。現在、指定管理は1期目で、指定管理者は株式会社イズミテクノでございます。

2の「プロポーザルの概要」でございますが、(1)のスケジュールにつきまして、概要欄にあります公募要項及び仕様書の配布、公開を5月初旬に予定しております。その後、公募説明会を実施し、指定申請書類の受付を経て、2次審査を7月下旬から8月上旬の中で行います。2次審査後は、指定管理者との仮協定を締結し、9月議会での議決を経て協定の締結へと進めてまいります。

なお、第3期の指定管理期間は(2)のとおり令和6年4月1日から令和11年3月31日までとなります。

報告は以上でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いたします。

その他ア 学校給食G7広島サミットサラダについて

その他イ 次回教育委員会定例会の日程について

○ 市場教育長：それでは、その他に移りたいと思います。

このたびは個別の案件についての説明は省略させていただきますが、特に伝えたいことが事務局からありますか。

ないようですので、続きまして、次回教育委員会定例会の日程について説明をお願いたします。

○ 武上学校教育課次長兼教育総務課長：次回5月は25日木曜日15時から北館201で行いたいと考えております。次々回、6月は議会の関係がございまして、1週ずらしまして29日木曜日16時からを予定しております。会場のほうは、未定となっておりますが、6月は29日木曜日16時からでお願いしたいと考えております。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

繰り返しますが、それでは次回は5月25日木曜日15時から北館会議室の201号室で決定いたします。次々回は6月29日木曜日16時から、会場は未定でございますが、提案いたしました、委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

はい、それではよろしくお願いたします。

そのほか、事務局からありますか。

その他、委員の皆様からありますか。

以上で本日の議題は全て終了いたしました。

それでは、以上で会議を閉会いたします。

傍聴人の方は退室してください。

皆様、ご協力ありがとうございました。

閉会 午後4時4分